



霞ヶ関南小だより



第6号

令和7年10月1日(水)

学校教育目標 やる気 思いやり げん気	★霞ヶ関南小学校はこんな学校を目指します★ 目指す学校像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる学校 目指す児童像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる児童 目指す教職員像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できるよう導く教師
児童のキャッチフレーズ ～ み んな な かまだ み んないい～	

「思いやり」の心を育む

校長 松本 礼香

2学期が始まり、1か月が経ちました。朝夕は特に涼しく、秋の訪れを感じる時期となりました。9月には、6年生がこれまでに小学校生活で学んだり身に付けたりしてきた力を修学旅行という大きな行事の様々な場面で発揮しました。仲間と協力したり、それぞれの役割を果たそうとしたりする6年生の姿に成長を感じました。引き続き卒業まで「さすが6年生!」と思われる姿をたくさん見ることができるよう教職員一同、心から期待しています。



さて、先月の学校だよりでもお伝えしたとおり、2学期は、「掃除に一生懸命に取り組む」ことを柱として、落ち着いた学校生活を更に充実できるよう、全教職員で指導しているところです。

日本では、子供たちが自分たちの手で教室や廊下等を掃除することが多いですが、これは世界では珍しいことだと耳にします。なぜ日本では、子供たちが掃除をするのでしょうか。

掃除というと、「その場所をきれいにする」「床をピカピカに磨く」などを想像することが多いと思います。しかしながら、私は日本の学校での清掃は「心を育てる教育」の一部であると捉えます。ただその場所をきれいにするだけでなく、「次に使う人のことを考える」という気持ちを育まれてほしいです。例えば、黒板をきれいに消すのは次に授業をする先生と一緒に勉強する仲間のため、トイレをきれいに掃除するのは、この後、そのトイレを使用する友達のためなど、掃除の時間は「思いやり」の心を育てる時間でもあると考えます。ぞうきんを絞るときも、ほうきを使って掃き掃除をするときも、「次の人のために」という気持ちを忘れずに掃除をしてほしいです。

10月のお話集会では「思いやり」について子供たちに話をします。「自分の心の中にある気持ちや考え(思い)」を「相手の気持ちを考えて、優しい行動や言葉に表すこと(思いやり)」で相手を思いやることができます。引き続き、15分間の掃除の時間の積み重ねを大切にして、掃除に一生懸命に取り組む、「思いやり」の気持ちをもつ子供たちを育ててまいります。

ご家庭でも、子供たちと一緒に掃除に取り組む、家族の中でも「互いに思いやる」気持ちを育てていただければ幸いです。

また、11月1日には校内音楽会があります。当日、子供たちが、練習の成果を十分に発揮できるよう、楽器を持ち帰った場合には、練習への励まし、見守りをよろしくお願いいたします。

<ご連絡>

- 9月より、ゆうちょ銀行より自動引き落としによる集金を実施しております。引き落とし日に残高が不足しておりますと、引き落としができず、引き落とし実施のたびに手数料(10円)がかかります。前もって残高の確認を忘れずによりしくお願いいたします。
- 11月21日(金)に非行防止教室を実施する予定です。1～3年生は3校時に実施します。4～6年生は2校時又は4校時に実施となる予定です。川越警察署の警察官や弁護士の方から、現代の非行問題行動に焦点をあて、「非行防止」の視点でお話をいただきます。当日は保護者の方の参加も可能です。詳細は決まり次第、ご連絡いたします。